



## 鬼頭健吾 Multiple star

2017年3月11日 [土] - 2018年1月8日 [月]

ハラ ミュージアム アーク Gallery A



「untitled(hula-hoop)」 2015 photo by shinya kigure



「inconsistent surface」 2011 photo by Norihiro Ueno

このたび、ハラ ミュージアム アークにおいて、「鬼頭健吾 Multiple star」展を開催いたします。10ヶ月の長期にわたる本展では、春・夏・秋冬と、巡る季節ごとに展示替えを行い、全く異なる3つのインスタレーション作品を中心に展覧いたします。

Multiple star (多重星たじゅうせい) とは、地球からは近接した位置に見える3つ以上の恒星を指す言葉です。ハラ ミュージアム アークのメインギャラリーである Gallery A 全体を使い、連続して展開する大型インスタレーションの数々は、今年、不惑の年を迎える鬼頭健吾の、伸びやかで鮮烈な表現世界の輝きを、夜空に瞬く星々さながら私たちに見せてくれることでしょう。

また、Gallery B, C および特別展示室 観海庵では、当館コレクション珠玉の作品群によるテーマ展示を行います。あわせてご高覧いただきたく、ご案内申し上げます。

### 【開催要項】

展覧会名 **鬼頭健吾 Multiple star**  
会期 2017年3月11日 [土] - 2018年1月8日 [月] (途中、展示替え休館あり)  
会場 ハラ ミュージアム アーク Gallery A  
〒377-0027 群馬県渋川市金井 2855-1  
Tel 0279-24-6585 E-mail info@haramuseum.or.jp  
<http://www.haramuseum.or.jp>  
<http://mobile.haramuseum.or.jp>  
<http://www.art-it.asia/u/HaraMuseum>  
<http://twitter.com/haramuseum>  
主催 原美術館  
協賛 ガトーフェスタ ハラダ  
協力 rin art association

開館時間 9:30 am - 4:30 pm (入館は 4:00 pm まで)  
休館日 木曜日(3月30日、5月4日および8月中は開館)、展示替え期間  
入館料 一般 1,100 円、大高生 700 円、小中生 500 円  
原美術館メンバーシップ会員無料、20名様以上団体割引あり

交通 JR 上越線「渋川駅」より(上越・北陸新幹線利用の場合は「高崎駅」で上越線に乗り換え)伊香保温泉行きバスにて約 15 分、「グリーン牧場前」下車、徒歩 7 分。「渋川駅」よりタクシーで約 10 分。お車の場合、関越自動車道「渋川・伊香保 I.C.」より 8km、約 15 分。

## 鬼頭健吾



撮影 大木 太

### 略歴

- 1977 愛知県名古屋市に生まれる  
2001 名古屋芸術大学美術学部絵画科洋画コース卒業  
2003 京都市立芸術大学大学院美術研究科油画専攻修了  
2008-09 財団法人五島記念文化財団の助成を受け、ニューヨーク（アメリカ）に滞在  
2010-12 文化庁新進芸術家海外研修員（2年間）としてベルリン（ドイツ）に滞在  
2015 日本に帰国、現在群馬県高崎市在住、京都造形芸術大学准教授

### 主な個展

- 2007 「starburst galaxy」(MOT×Bloomberg PUBLIC 'SPACE' PROJECT) 東京都現代美術館  
2014 「SIMULACRUM」WOOSON GALLERY（デグ、韓国）  
「kengo kito」New Town Plaza（香港）  
2015 「Migration」群馬県立近代美術館（高崎、群馬）  
2015/2016 Think Tank Lab Triennale - International Festival of Contemporary Drawings  
現代ドローイング国際芸術祭 企画展「KENGO KITO STRUCTURES」BARBARA（ポーランド）  
2016 「kengo kito Solo Exhibition」西武渋谷（東京）  
「Time Travel - Tokyo」ケンジタキギャラリー（東京）  
「KENGO KITO Interstellar」京都造形芸術大学 Galerye Aube（京都）  
「レジデンスアーティスト展」Kuandu Museum of Fine Arts(台北)  
2017 「cart wheel galaxy」rin art association（群馬）

### 主なグループ展

- 2004-05 「日本の新進作家 vol.3 新花論」東京都写真美術館（東京）  
2005 「ベリーベリーヒューマン」豊田市美術館（愛知）  
2007-08 「六本木クロッシング2007：未来への脈動」森美術館（東京）  
2008 「Twenty.」デイズド・アンド・コンフューズドギャラリー（ロンドン、イギリス）  
2009 「バロック・プラスチック」I-MYU プロジェクト（ロンドン、イギリス）  
「天球極 漆とアートの饗宴」豊田市美術館、高橋節郎館（愛知）  
2009-10 「NO MAN'S LAND 創造と破壊@フランス大使館」在日フランス大使館（東京）  
2011 「Art in an Office—近代日本画から現代絵画まで」豊田市美術館（愛知）  
「アーティスト・ファイル2011—現代の作家たち」国立新美術館（東京）  
「世界制作の方法」国立国際美術館（大阪）  
2012 「カルペ ディエム 花として今日を生きる」豊田市美術館（愛知）  
「THE ECHO—ALTHOUGH I AM STILL ALIVE」(展示、兼企画)クンストラウムベタニアン（ベルリン、ドイツ）  
「THE ECHO—Spreading of Light—」(展示、兼企画)日本文化会館（ケルン、ドイツ）  
2013-14 「Now Japan; Exhibition with 37 contemporary Japanese artists」クンストハレ KAdE（アメルスフォールト、オランダ）  
「Mono no Aware. Beauty of Things. Japanese Contemporary Art」エルミターージュ美術館（サンクトペテルブルグ、ロシア）  
2015 「cosmos/intime」高橋コレクション展 パリ日本文化会館（フランス、パリ）  
2016 「DOMANI・明日展 PLUS」KYOTO ART CENTER（京都）  
「アートプロジェクト高崎—The Echo 展」高崎シティーギャラリー（群馬）

### パブリック・コレクション

- ヴァンジ彫刻庭園美術館（長泉町、静岡）  
コーネル大学、ハーバート・F.ジョンソン美術館（ニューヨーク、アメリカ）  
高松市美術館（高松、香川）  
豊田市美術館（豊田、愛知）  
国立国際美術館（大阪）  
トヨタ自動車株式会社（豊田）  
高橋コレクション（東京）  
ガトーフェスタ ハラダ（高崎）